

「いただきますの日」ひとこと感想
心あたたまるたくさんの取り組み、ありがとうございました。

〔夏休み編〕朝食

○朝ご飯を一緒に作りました。きゅうりやトマトを切ったり、お皿に盛り付けたり、目玉焼きを作ったりしました。包丁を使わせるのは、まだ心配ですが、一生懸命やろうとする姿を隣で見守りながら作りました。1人でできたことがとてもうれしそうでした。(1年)

○早起きした日は、自分で冷蔵庫をながめては朝食を考えてくれます。火を使わないといけないのはお母さんにしてもらって、野菜などのカットを済ませておき、電子レンジやトースターを使って上手に工夫して料理していました。母が火をつけて、卵を焼いて軽いやけども経験したようですが、うまく付き合えば、美味しいものができるようになったようです。(3年)



〔夏休み編〕昼食

○この頃我が家では、トマトの人气がなくなってきました。ミニトマトなら食べるけれど、トマトはいや！と姉妹そろって同じことを言います。ですので、今回はインスタントラーメンを使って、レンジで簡単に作れる、冷やしラーメンがあるよと声をかけてみました。もちろん調理は子供達にお任せします。トマト、キュウリに豚しゃぶのお肉をプラスして、ボリューム満点！夏の暑い日でしたが、コンロも使わず母も楽しかったです。美味しかったし楽しかったですね、ごちそうさまでした。(6年)



〔夏休み編〕夕食

○夏野菜を一緒に育てました。トマト、キュウリ、ゴーヤ、なす、とうもろこし、スイカ等、それらを食卓に出して一緒に食べました。(1年)

○「自分でおかずを作りたい。」と言って、卵を割ってスクランブルエッグを作ってくれました。みんなで「おいしいねー。」と言って食べました。(1年)

○少し前に、おばあちゃんが植えてくれていたジャガイモ掘りをして、みんなでたくさん収穫しました。そのジャガイモを使って、ポテトチップスを作ったらとっても喜んで、「美味しい、美味しい。」と何回もおかわりをして、「やっぱり自分たちで掘った、新鮮なジャガイモのポテトチップスは美味しいね。」と話しました。(1年)

○夏になると、スイカを器にしたフルーツポンチの絵を見て、毎年やりたいと子供達に言われていたので、今年は家で作ってみました。「これほどの贅沢はない！」と母は言いながら、美味しいスイカを作ってくれるおじいちゃんに感謝だねと話しました。姉妹は、次々とフルーツを入れていきます。缶詰のシロップは入れる？入れない？で悩み始めた妹たちに、姉はスイカの水分が多いから入れなくてもよいとアドバイスして、無事に完成です。もちろん味はサイコーでした。(3年)



○学校でもらったタマネギを使ってドライカレーを作りました。野菜やひき肉を炒めるのを手伝ってくれました。これからはいろんな料理を一緒に作ろうね。(3年)

○夏休みに親子でハンバーグ作りをしました。学校のある日はなかなか時間をとれず、手伝ってもらうことも少ないですが、夏休みということもあり、兄弟で楽しく作ることができました。ハンバーグをひっくり返すコンロの周りでの作業も、安心して任せられるようになり、成長を感じました。(6年)

〔夏休み編〕その他

○夏休みの少し前に、自宅の庭で家庭菜園を始めました。主人もわたしも野菜など育てたこともなく、0からのスタートでしたが、コロナで楽しみの少ない夏休みに少しでも変化を…と育ててみました。自分で植えたトマトが実ると、子供もとても喜び、やってよかったなと主人と話しています。(1年)

○今年の春頃から、野菜の苗を家の裏に植え、育ててきました。夏休み頃から、ミニトマトやキュウリ、ナス、オクラ、ジャガイモがとれて、自分たちで育ててきた野菜を料理して食べました。自分で育てて作った野菜なので、安心して食べられることや食材の大切さを学んでくれていればと思います。(3年)

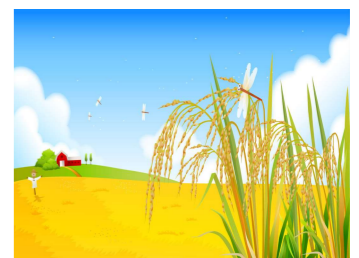
○夏休み少し前から、自宅の庭で家庭菜園を始めました。学校農園でみなさんにたくさん教えていただいているようで、主人やわたしよりも、子供の方が野菜の育ち方に詳しく驚きました。学校で貴重な体験をさせてもらっているのだなと感謝しています。(5年)



○畑でトマトを育てましたが、半分以上、虫にかじられていたので捨てました。食べ物を育てるのは難しいなと思いました。(2年)

○父母が仕事のため、祖父母の直売所で夏休みを過ごしています。桃の種類を覚えたり、実際食べて味の違いを感じたりしているようです。今年はカラスの被害が多いようで、畑でよくカラスを見つけるたびに、子供心に「桃を作るのって大変だな。」と話していました。(2年)

○日頃、何気なく食べている白ご飯。どのようになっているかと弟と興味を持ったため、稲→稲穂→米になることを話し、近くの田んぼを見に行きました。まだ、水田だったため、「これからどうやってお米になるの？」と不思議だったようなので、秋に米になった様子を見に行く予定です。(1年)



○1年を通して、田植えや稲刈りを体験して、農作業の大変さを感じて、ご飯を一粒残さず食べるようにしています。新米ができるとおにぎりにして、みんなで食べる時、とても美味しそうに食べています。(3年)

○クッキーを作りました。混ぜるのがしんどかったけれど、楽しかったです。(2年)

○ブラックベリーフルを作りました。まず、ブラックベリーをいっぱいつぶします。その後、生クリームを入れます。次に、砂糖を入れます。そして、混ぜると完成です。食べるとすごく美味しかったです。(2年)

○ぼくは、お母さんと妹と一緒にケーキ作りをしました。スポンジにチョコクリームをぬって、フルーツは、ブドウ、モモ、パイナップル、ミカン、サクラamboをのせました。おいしかったです。次は、イチゴのケーキを作りたいです。(2年)



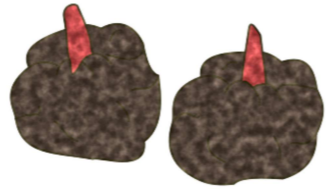
〔冬休み編〕朝食

○仕事もなくゆっくりした朝だったので、たこ焼き器でホットケーキを焼きました。弟は、自分でひっくり返したり、好きなトッピングをしたりしました。兄の方は、自分で皿やトッピングの用意をしたり、自分でひっくり返したり、わたしが手伝わなくてもできることが増えていて成長を感じました。いつもよりのんびりと朝食を楽しむことができました。(1・5年)

○お正月の朝といえば、お母さんが休める日ということで、朝食に目玉焼きを1人でやってみました。火の取り扱いはお姉ちゃんでしたが、手順もしっかり覚えていて、焼き加減もバッチリ。スクランブルエッグもマスターしているので、後は、だし巻き卵にチャレンジして欲しいです。(3年)

〔冬休み編〕その他

○毎年年末に、畑で掘ったこんにゃくいもを使って、おばあちゃんがこんにゃくを作ってくれます。今年はおばあちゃんが体調不良だったので、お父さんと子供達でがんばって、こんにゃくいもを掘ってくれました。初めて見るこんにゃくいもの大きさにビックリしながら、どこにあるか分からないお芋を手探りで、一生懸命掘ってくれました。コンテナいっぱい収穫することができて、お母さんとおばあちゃんに美味しいこんにゃくにすることができました。(1年)



○家族みんなで、初めてクッキーを作りました。生地をこねて、型抜きをして焼きました。型抜きは子供が1人で全部しました。美味しくできたので、祖父母にもあげました。(1年)

○今年は、お姉ちゃんと妹で初めて、クリスマスケーキをデコレーションしました。スポンジからは難しいかと思い、生クリームを泡立てるところから2人に任せてみました。2人で話をしながら、デコレーションをしてくれて美味しかったです。来年は、スポンジケーキからチャレンジしてくれるみたいで、とても楽しみにしています。(2年)



○ぼくは、スモアというお菓子を作りました。クラッカーにチョコレート、マシュマロをのせて、もう1枚のクラッカーではさみます。それをトースターで少し焼いたらできあがりです。食べると、マシュマロがトロトロしておいしかったです。(2年)

○今年の冬至は、ゆず風呂に入りました。妹たちは、「わー！お風呂にみかんがはいつている！」と大喜びでした。みんなでゆずと一緒に踊りました。「冬至にゆず風呂の入るのはなぜ？。遊びも大事ですが、勉強も大事だね。」と声をかけました。姉がパソコンを使って調べます。「ゆずの強い香りが邪気を払う。乾燥を防いで体を温める。1年間風邪をひかない。」などがありました。姉妹は覚えているかどうか分かりませんが、来年の冬至に聞きたいと思います。(3年)

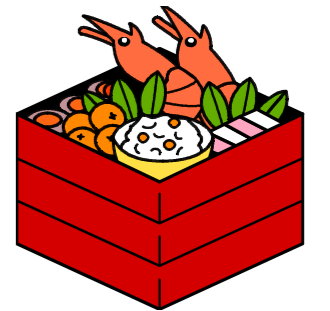
○寒い日だったので、一緒に粕汁を作りました。材料を切る作業も、今までは、ハラハラしながら見ていましたが、なかなか上手にできていて、自分で作ったからか、おかわりしていました。今度は全工程を任せてみたいです。(6年)

○「冬至に食べるものは何でしょう？」答えが全く出てきません。ヒントをいくつか出すとやっと「カボチャ」が出てきました。「では、なぜ、カボチャを食べるの？」冬至は、「ん」のつく食べ物を食べると運を呼び込めるという縁起担ぎがあるそうです。妹たちは、『カボチャは、「ん」がついていないよ。』と言います。「では、カボチャの別の言い方は？」の質問に、姉たちは、「パンプキン！」と答えました。わたしは思わず、「今どき！」と言いました。「カボチャは、なんきんと言うんだよ。」と教え、『特に「ん」がふたつつくものがよいと聞いたことがあるよ。』と言いました。(6年)



〔おもち・おせち料理・お雑煮など〕

○毎年我が家では、祖母がおせち料理を作ってくれます。大晦日にみんなで、重箱におせちを詰めます。今年は祖母が子供達に、それぞれの食材を食べる意味を教えてくださいました。とても興味深そうに、聞いているのが印象的でした。(1年)



○年末、子供と一緒にもちつきをしました。おもちは縁起物で、お正月には神様にお供えしたり、お雑煮で食べたりするものだよとお話ししながら、もちつきをしました。白もちとうるもちの2種類を作りましたが、本人は、白もちを焼いて砂糖醤油で食べるのが美味しいと喜んで食べていました。(1年)

○おせちの意味を話しながら食べているとき、「おせちっていつものご飯と違う味がする。」と、ふと言い出した息子。昔からお正月の三が日は、神様へのお供え物としておせちがあったという言い伝えや、昔は冷蔵庫がなく、保存ができるよう濃い味付けになっていることなどを話し、親子共々おせちへの考えを深めることができました。(2年)

○友だちと3人で、おもち丸めや色おにをしました。楽しかったです。(2年)

○わたしは、残っていたおせちの具材をタッパーにつめて、タッパーおせちを作りました。作り終えて次の夜、みんなで食べました。ただつめただけでも、みんなおいしいといってくれました。(5年)

○もち米を蒸すところからやってもらいました。もちつき器に入れて、つき上がったものを丸める…。神様にお供えするようにきれいに半紙と水引で包んでくれました。去年よりも手慣れてうまく丸めることができていて、成長が見られてうれしいです。(5年)

○毎年おもちつきをしています。年に一度の見慣れた光景ですが、もち米を蒸すところからいつも見えています。杵と臼でのおもちつきを毎年続けていきたいと思っています。ついたおもちを自分たちで丸め、鏡もちを作ったり、丸もちを作ったりしました。できたおもちで、お雑煮やぜんざいにして食べました。毎年、年に1度の子供達との行事を続けていけたらいいなと思いました。(5年)

